



# ウェルビー



「おしごと体験」開催！  
参加者約 **500** 名！



ご参加ありがとうございました



真夏の祭典！  
紀和  
カーニバル

7月28日に「真夏の祭典！紀和カーニバル～おしごと体験～」を開催し、多くの方々に参加していただきました。中には看護師に憧れているお子さんや、医者や臨床検査技師、放射線技師を目指している高校生も参加されていました。



電気メスを使ったり、エコーで身体の中を見たり、CTの装置を動かしてみたり、普段できない体験を色々してもらいました。「心臓の音が最初全然わからなかったけど聞けた」「エコーで自分ののども見なかった」など楽しみながら学んでくれていました。

医療というものや、自身の進路、職業などを考えるきっかけとなり、ひとりでも多く医師などの医療職が誕生してもらえるとうれしく思います。



たくさんのご応募・ご来場ありがとうございました。



# 15周年記念講演会



～高齢者の医療と栄養について考える～

## 記念講演

『高齢者の栄養管理について』

帝塚山学院大学

学長 津田 謹輔 先生



『医療でのリハビリから

在宅でのリハビリへの円滑な連携とは』

～ 在宅の視点から ～

医療法人南労会 リハビリ型デイサービスあじさい

施設管理者 前田 直人



日時

2018年 9月29日 (土)

14:00～17:00

(開場 13:30～)

場所

橋本商工会館 5階大会議室

(橋本市市脇一丁目3-18)



第7回乳がんいのちプロジェクト 市民公開講座

〈一部 ピンクリボン講演会〉

あたえられた

命を生きる

宮崎ますみさん

「これでいいのか！乳がん事情」

紀和ブレストセンター  
梅村定司

10/27(土)

〔共催〕 開場 13:30、開演 14:00~16:30

医療法人南労会紀和病院、伊都医師会、中外製薬株式会社、国際ソロプチミスト和歌山紀北

橋本市保健福祉センター

JR和歌山線橋本駅より橋本市コミュニティバス  
「保健福祉センター前」下車

入場無料

- 14:00 開会の辞
- 14:10 これでもいいのか！  
乳がん事情 (60分)  
梅村定司センター長
- 15:20 あたえられた  
命を生きる (60分)  
宮崎ますみ氏
- 16:20 閉会の辞

〈二部 ピンクライトアップ点灯式〉

世界遺産 慈尊院

10/27 (土) 点灯式 17:30~

点灯 17:30~19:00 \* 荒天中止

宮崎ますみさんと一緒に  
ろうそくを灯しませんか！

〔共催〕 世界遺産別格本山慈尊院  
乳がんいのちプロジェクト実行委員会

三つの祈り

ピンクの光にこめる願い

一つ 早期発見のためにあなたに  
検診を受けてほしい

二つ 乳がんと闘っているあなたへ  
勇気を贈りたい

三つ 乳がんで亡くなったあなたを  
忘れないために

# 緩和ケア病棟相談会

2018.10.10(水) - 12(金) 12:00~16:00

**場所** 医療法人南労会紀和病院 緩和ケア病棟

**対象** どなたでもお気軽にお越しください

- これからどうなっていくのか不安
- 誰に話していいのか分からない心の悩み
- 食べてくれないのが心配
- 痛み・だるさ・息苦しさ・・・身体のつらさをなんとかしてほしい
- 入院するにはどうしたらいいの？
- 出来るだけ自宅で見てあげたい（口腔ケア、療養環境、リハビリ、介護用品などに関する相談）など
- 私たち家族に出来ることって？
- 緩和ケアってどんな治療をするの？
- 医療費ってどれくらいかかるの？



緩和ケア科医長  
廣岡 慎治医師

緩和ケアって  
知ってる？



## 教えて！作業療法士さん

— 認知症を持った患者さんとの関わりについて —

和歌山県長寿社会課によると、橋

本市の高齢人口比率は29.8%（H29年9月現在）であり年々その割合は高まっており、九度山町や高野町といった近隣の山間地域においては40%超と大凡2人に1人が高齢者という時代が近づいています。

これらの社会背景に伴い認知症を患った患者さん、利用者さんを診る機会も多く、場合によっては認知症の人の不適応行動ととれるような場面です。困った経験のある方も少なくないと思います。

認知症における不適応行動とは「認知症周辺症状（BPSD）」と言い、客観的には目的不明に見えますが、本人にとっては明確な目的や理由があつての切実な行動である場合が多いです。

認知症周辺症状とは、暴言や暴力、興奮、せん妄、徘徊、物取られ妄想などであり、治療やケア側としてどのように対応すれば良いか悩む内容だと思えますが、認知症によって見当識や記憶力、判断力などの「中核症状」が障害されたことにより、その場に合わせた筋道を立てた思考が出来なくなつた状況が行動として表

### 行動症状（周辺症状）

- 徘徊
- 暴力・暴言
- 食行動異常
- 失禁・不潔行為
- 睡眠障害
- 介護抵抗
- 無為・無反応

### 中核症状

- 記憶障害
- 失見当
- 判断力障害
- 性格変化
- 遂行機能障害
- 失認・失行・失語
- 妄想
- 幻覚
- 不安・焦燥
- 抑うつ

### 心理症状（周辺症状）

これらのような場面に出会った際には、その人の生活歴、仕事歴、趣味、家庭内での役割などを踏まえた上で、「何をしたいのか」「なぜ急いでいるのか」「どこに行きたいのか」などを傾聴し、その心配している事に対して共感する姿勢で対応すれば、少しずつ穏やかさを取り戻してくれることも多いと感じています。



リハビリテーション部 室長 西田 裕希





### 県内初！！ 上肢用ロボット型運動訓練装置を導入



コンピュータ技術とロボット工学を応用し、脳卒中中等の患者さんの麻痺側上肢の関節癒着・拘縮予防、随意運動の拡大および関節可動域を改善することで、ADL（日常生活動作）・QOL（生活の質）向上を目指します。



### 災害学習会

7月30日、来院した傷病者のトリアージと救急車の取り扱い方法を救急看護認定看護師の指導のもと実践しました。トリアージは事前学習の効果がありスムーズに実施することができました。

### 人工呼吸器セミナー

8月8日および22日の2日間に渡り、慢性呼吸器疾患看護認定看護師による『みんなと学ぶ人工呼吸器ケア』を開催しました。当日は、呼吸器メーカーによる実際の機器を用いた体験もありました。



### 地域連携室便り

## 医療法人 水本整形外科

当院はこの10月に開院20周年を迎えます。紀和病院はじめ近隣の先生方、地域の皆様のお蔭と感謝申し上げます。投稿の機会をいただきましたので、近況を思いつくまま書かせていただきます。

勤務医時代には手外科で貴重な経験を積ませていただきました。開業に際し、探したのは手術のできる診療所でした。“独りで出来る手外科”をめざし、今もばね指、手根管症候群、手指骨折など日帰り手術をしています。9年前導入したエコーは、診断だけでなく、神経ブロック、麻酔に役立っています。X線透視装置は、最近では、手術より、硬膜外・神経根ブロックなどの利用機会が多いようです。腰部硬膜外ブロックでは、あらかじめMRI

画像上で刺入点～硬膜間距離を計測し、透視下に注射を実施します。椎骨変形の強い例でも、短時間で確実なものとなり、脊髓腔穿刺の合併症はほぼ無くなりました。画像を自家サーバーに取り込み、診察の度に素早く症状と画像の比較ができ重宝しています。紀和病院へMRI依頼を始めて、2年4か月になります。当院の画像サーバーに適した提供法を確定する際は、レントゲン技師の方々にお世話をおかけいたしました。これまでに400例以上もお世話になっています。日頃より迅速な対応を頂き、改めて感謝申し上げます。

これからも整形外科はじめ紀和病院の先生方には、引き続きよろしくお願いを申し上げます。

\*本文は院長 水本 茂 先生よりご寄稿いただきました。

### 地域の 架け橋



院長 水本 茂 先生

